

報道関係各位

2015年 3月 5日

けいはんな学研都市ATRベンチャーNVCC投資事業有限責任組合への出資について

株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長：服部正太）は、本年 2 月 10 日に設立された「けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合（以下「けいはんな ATR ファンド）」に対して、出資することといたしました（出資約束金額：2 億円）ので、下記の通りご報告いたします。

けいはんな ATR ファンドは、株式会社国際電気通信基礎技術研究所（本社：京都府相楽郡、代表取締役社長：平田康夫、以下「ATR」）が有する技術シーズの事業化を目的とするベンチャーファンドで、日本ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：奥原圭一、以下「NVCC」）が運営管理を行います。

ATR は、関西文化学術研究都市（愛称：「けいはんな学研都市」）の中核研究機関として、国内外の産官学連携を基に情報通信関連分野における先駆的・独創的研究を進めてきました。現在では広く社会に普及した音声翻訳・認識技術や無線通信技術の他、今後、社会課題への貢献が期待される脳情報科学やライフ・サポートロボット技術について、いち早く研究に着手し、その研究成果の事業化にも積極的に取り組んでいます。

アカデミアシーズの事業化に関して豊富な経験を有する NVCC が設立したけいはんな ATR ファンドは、「研究機関を中心とした新たな事業創出モデル」の実現を目指し、ATR が有する技術シーズを事業化するベンチャー企業に対して投資を行ってまいります。

構造計画研究所は「大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業」として、設立当初から学問知を取り入れ、社会の課題解決に貢献する工学知の提供を続けてまいりました。

今回の取り組みは当社の経営理念と親和性の高いものであり、ATR の技術シーズと当社が有する技術との融合を図り、さらなる付加価値の向上に取り組んでまいります。

※ 各社の情報につきましては、NVCC・ATR 発表のニュースリリース（2015年2月23日付）をご参照ください。

<http://www.nvcc.co.jp/news/images/20150210.pdf>

■ けいはんな ATR ファンドの概要

名 称	: けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合
投 資 対 象	: ATR が保有する知的財産を利用している若しくは将来利用すると ATR が認めるベンチャー企業等の事業者
無限責任組合員	: 日本ベンチャーキャピタル株式会社
設 立	: 2015年2月10日
出 資 約 束 金 額	: 最大 50 億円
存 続 期 間	: 2024年6月30日まで

■ 会社情報：株式会社構造計画研究所（<http://www.kke.co.jp>）

構造計画研究所は 1956 年に建築物の構造設計業務からスタートし、それら人工構築物を取り巻く自然環境（地震、津波、風など）、そして社会・企業・コミュニティへと解析の対象範囲を広げてきました。「大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業」として、知の循環から生まれる工学知を基に社会のあらゆる問題を解決し、「次世代の社会構築・制度設計」の促進に貢献します。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社構造計画研究所 広報・IR室 守武／竹田
TEL:03-5342-1040 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。